

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ヨーク大学オンラインプログラム
所 属	理工学部 建築学科 専攻 3年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラムの内容としては、前半の2時間半は York University の先生とともにカナダの文化を学んだり、プレゼンテーションやディスカッションを行ったり、発音練習や英語の歌の練習などを行った。後半の30分は現地の学生と音楽やアートという話題を通じて交流する時間だった。今回のプログラムに参加するにあたって、「積極的に発言すること」や「わからない時ははっきりと言うこと」などの目標を立てた。とにかく口を動かすことや、間違ってもいいから無反応にはならず発言することを心がけたことによって英語で話すという点においては少し慣れたように感じる。何より一番向上したと感じるのはリスニング力で、授業の最後の方になるにつれて現地の学生のネイティブのスピードにもついていけるようになったので成長を感じた</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>カンバーセッションパートナーという現地の学生と少人数で対話ができるというような制度があり、積極的に活用するようにしていた。クラスだと人数が多いのもあり一人の発言時間は限られる部分もあるが、この制度のおかげで現地の学生と1対1、多くても3対1で各々の好きな話題で会話することができた。私は、カナダで有名なものや流行っているものを教えてもらったり、逆に現地の学生の好きな日本のアニメの話で盛り上がったりした。ここで感じたことは、どんな場面でも会話は人対人で行われるもので、英語はコミュニケーションツールの一つにすぎないということだ。正しい英語を学ぶのももちろん大事だが、使える英語というものの重要性を感じた。また、この経験によって英語学習がとても楽しくなって、自分の意見が言えて伝わるということの素晴らしさを感じた。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>オンライン留学の一番のメリットはどこでも受けることができるという自由度の高さだと感じた。実際私はこの期間中に実家に帰省しながら授業を受けていた期間もあった。バイトやサークルを休むことなく参加できたこともメリットと感じる。また、同じクラスの友達が言っていたこととしては、現地に赴く留学より自分にはハードルが低くて参加する勇気を持てたという意見や、自分にとっては発言がしやすい環境だったという意見があった。デメリットとしては留学の醍醐味である現地での生活を体験できなかったことだと思う。また、画面上ではコミュニケーションを取りにくい部分もあり現地の学生やクラスの友達とももう少し密な関係になれたかもしれないという思いもある。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>参加前は英語力の向上だけに目がいていたが、今回気づいたこととしては、積極的に発言するためには自分の意見をしっかり持っていることが求められることであった。これは日本語も英語も関係なくそうであるなと思うようになり、日頃から様々なことに目をむけ視野を広げ、それに対する自分の意見をしっかり持つように心がけようと思った。また、今後は日本だけでなく世界中の人と対等に議論できるような人間になっていきたいと思っている。現在学んでいる建築や都市計画をしっかりと学ぶとともに、英語学習も続けていき世界という舞台で住みやすい街づくりに貢献したい。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	